



あいち民主

県議団県政レポート

県民の声をカタチにする予算で、 愛知をより強く！

令和6年9月議会が開催され、総額約170億円の一般会計補正予算と企業会計で約1,400万円の増額補正予算を審議可決しました。

補正予算の主な内容では、愛知県基幹的広域防災拠点の整備として災害時に自衛隊等のベースキャンプ用地や、物資ターミナルの役割を果たす防災公園の整備をBTO方式と一部工事は県が発注することにより実施します。また、児童虐待防止対策を強化するため、児童相談所のシステムを改修し、児童相談所から警察に提供している情報を即時共有できる体制を構築します。さらに、一時保護所に入所する児童の環境改善と受入体制の強化を図るため、三河地区の一時保護

所の移転整備に向けた基本計画を策定します。

このほか、2028年に技能五輪国際大会が愛知県で開催することが決定。開催に向けた準備を進めます。

さらに、県内の厳しい交通事故情勢を踏まえ、事故が多発する交差点の信号灯器のLED化や、道路標識・標示を更新し、交通事故の抑止に努めてまいります。

このほか、企業会計では豊橋浄水場の再整備等について、公共施設等運営権の対象施設に豊橋南部浄水場などの関連施設を追加し、BTセッション方式により事業を推進してまいります。

政策提言書を知事に提出！

◆ 主な提言内容 ◆

1 経済・産業政策

- 1 中小企業・小規模事業者に対する更なる伴走支援の推進
- 2 Aichi-Startup戦略及び革新事業創造戦略の推進
- 3 外国人観光客の消費喚起に向けた取組の推進
- 4 SDGs 理念に基づく用地開発と企業ニーズに応じた用地造成の推進

2 雇用・労働・環境政策

- 1 男女共同参画社会の実現と働きやすい労働環境の整備
- 2 地球温暖化防止の取組推進及び環境・エネルギー分野の産業振興
- 3 PFAS対策の推進

3 医療・福祉・教育政策

- 1 少子化対策の推進
- 2 良好な教育環境の整備と教員の働き方改革の推進

4 安全安心・暮らし政策

- 1 防災・減災対策を踏まえたハード・ソフト両面の整備推進
- 2 交通事故防止対策の推進
- 3 特殊詐欺・サイバー犯罪への対策強化
- 4 農林基盤施設の災害対策・老朽化対策・予防保全の推進
- 5 ファミリーシップ制度の普及啓発

5 地域・行政改革政策

- 1 あいちDX推進プラン2025の推進でICT 活用支援、デジタル人材育成の推進
- 2 第20回アジア競技大会・第5回アジアパラ競技大会の推進
- 3 生産性の高い農水産業の実践に向けたイノベーションの推進



団の総意をもって知事に要望！

あいち民主県議団 代表質問から

(9月25日 本会議)



幹事長
日比たけまさ
(春日井市、4期)

1 県が進める水素プロジェクトについて

知事 本県では、工場や発電所のほか、県内のあらゆる分野において、水素やアンモニアを活用するプロジェクトを推進している。例えば、サプライチェーンを構築するアンモニアを碧南火力発電所での燃料として利用する取組を核としつつ、周辺工場での工業炉や自家発電等の燃料を水素やアンモニアへ転換することを促進し、大規模な需要と供給を創出するもので、「水素社会推進法」に基づく支援の獲得を目指し、関係企業等と調整している。

2 戦争に関する資料館が果たしてきた役割とこれからについて

知事 資料館では、県民の皆様から寄贈頂いた戦時下の生活資料や図書・文献など、約19,000点の貴重な資料を収蔵し、その一部を展示することで、来館者自らが平和や戦争について考える機会を提供している。

来年は戦後80年、資料館開館10周年を迎える。そこで、更なる展示内容の充実・改善を図るとともに、節目にふさわしい事業の実施を検討する。今後、一人でも多くの皆様から、戦争の残した教訓や平和の大切さ、尊厳を学び、平和を希求する豊かな心を育むことができるよう、しっかりと取り組んでいく。

3 県立特別支援学校における医療的ケア児への支援について

教育長 医療的ケアの申請があった際、早期かつ安全に学校の看護師によるケアを開始し、保護者の負担を軽減できるよう、ガイドラインを今年度中に策定する。

医療的ケア児にとって、社会見学や修学旅行等の校外学習は、感性や知的好奇心を育むとともに、心身の成長を促すうえで大変貴重な機会となる。そこで、看護師が同行しケアを実施する「校外学習付添モデル事業」を2校で実施している。また、通学時に福祉タクシー等に看護師が同乗し、たんの吸引等を実施する事業も2校で実施している。これらは、保護者から「負担が減った」と好評を得ていることから、希望する全ての医療的ケア児が利用できるよう検討していく。

知事 「愛知県人権尊重の社会づくり条例」の制定に先駆け、2021年8月からSNS等の差別的な書き込みについて、モニタリング事業を実施している。本年8月末までの3年間で、2,343件の差別的な書き込みを把握し、悪質で違法性の高い203件については名古屋法務局に削除を要請、115件の削除を確

4 インターネット上の誹謗中傷への対策について

知事 「愛知県人権尊重の社会づくり条例」の制定に先駆け、2021年8月からSNS等の差別的な書き込みについて、モニタリング事業を実施している。本年8月末までの3年間で、2,343件の差別的な書き込みを把握し、悪質で違法性の高い203件については名古屋法務局に削除を要請、115件の削除を確

認した。インターネット上の人権侵害を防止することで、多様性を認め合う、誰一人取り残されることのない人権尊重の社会づくりをしつかりと推進していく。

5 災害マネジメントに精通した人材の育成について

知事 能登半島地震では、災害マネジメントを行う総括支援チームとして、総務省による研修を受講している。防災安全局の管理職を中心に、延べ104人を派遣した。災害応急対策を実施する上で、災害マネジメント業務を担える人材を更に多く育成していく必要がある。現在、各県民事務所や消防学校の管理職に総務省の研修を受講させ、知識・能力の向上を図っており、今後こうした人材を更に育成し、防災力強化を図っていく。



本会議の録画視聴はこちらから

あいち民主県議団 一般質問から

旧優生保護法被害の実態を調査、検証すべき



高木ひろし議員
(瑞穂区、6期)

「優生上の見地から不良な子孫の出生を防止する」とした旧優生保護法による障害者への強制不妊手術について、最高裁が憲法違反と断じたことにより、政府は原告被害者らに謝罪し、全面的な賠償や救済に向けた動きが始まった。愛知県としては「優生保護審査会」を通じて多数の手術を行っ

てきており、大村知事は謝罪の意思を表明したが、被害実態の検証や被害者救済はこれからだ。まずは県機関だった心身障害者コロニーや城山病院などの元職員から聞き取り調査を行なうよう強く求めるとともに、優生思想を流布した過去の高校教科書の実例を紹介しながら、教育委員会に人権教育の徹底も要求した。

このほか、木曾川水系連絡水路事業や、浮体式洋上風力発電に対する県の見解も質した。

攻める「スタートアップ」を守る「災害・児童虐待」



小木曾史人議員
(あま市及び海部郡、2期)

開業を目前に控えたSTARTUP Ai。期待感に応えるため、ものづくりとの融合と連携に必須となる県下ものづくり企業のオープンイノベーションへの意識改革、STARTUP Aiを軸とした具体的な「形」としてのダイバーシティと女性活躍の取り組みについて質問。県当局からは、それぞれの視点を積極的に盛り込

んだ具体的な施策を強力に展開していきたいという強い決意が述べられた。その他、大規模災害への備えとして、「場所の支援」から「人の支援」へのシフトをキーワードに、在宅・車中泊避難者への支援と専門ボランティア団体の受入れ体制の整備等を早急に進めるとともに、児童虐待への対応として、職員の人材育成と連携、子ども

の権利擁護の視点を踏まえたもう一段階上の一時保護所の環境整備の推進を求めた。

豊穡の三河湾を復活させ漁業の未来を守る！



藤原聖議員
(西尾市、1期)

り組んできた豊かな三河湾を取り戻すための闘い。当初は縦割り行政と規制部局の高い壁に阻まれてきたが、徐々に理解が深まり、この度、県浄化センターでの2027年までの栄養塩管理運用改善と漁業生産に適さ

ない三河湾の水質類型の早期緩和を求めるとともに、愛知海苔復活への取組、漁協の経営改善、ウナギの資源保護について取り上げた。

また、西尾市最大の課題である名鉄西尾・蒲郡線の存続に向けての県としての支援策、学校において言語以外のコミュニケーション手段の保障をどのように実現するか、また、多発する金属盗難に対し県の条例を復活すべきではというテーマで質問を行った。

消防職員の大型免許取得は、自費か？公費か？



高橋正子議員
(一宮市、6期)

で、消防本部では20代の若手消防職員に免許取得を要請しているが、取得費用は40〜50万円と高額。しかも、業務に必要不可欠でありながら「自費」が原則。県内34消防本部で全額公費負担は名古屋市と一宮市のみ、あとは「自腹」か一部公費負担で

各市町村の財政状況によって異なる。消防職員の大型免許取得が原則「自費」なのは、若手消防職員には負担となり、人材確保にも影響があるのでは？消防本部の体制強化に向けて助言する県消防では「大型免許取得に関わる事例を整理し、動向を注視していく」と答弁。他に、能登半島地震を教訓に、「災害拠点病院」の機能維持についても質問。本年11月に、能登半島地震の教訓を生かした新たな訓練を実施すると答弁。

モノづくり王国あいちの技能検定を問う！



江原史朗議員
(南区、1期)

品出荷額等46年連続No.1や工場立地件数、輸出額なども全国第1位。この成果の源泉は、職業能力開発促進法に基づく「技能検定」制度にある。県と県職業能力開発協会が主体となつて実施する技能検定において、低い日当ゆえに、協力先企業や職域

団体による「持ち出し」状態が長年にわたり続いてきた。2028年国際大会の誘致が決まった今、県は当事者意識をもって制度の改善に取り組むべきと訴えた。

また、過去の大震災からの課題であるペット避難の在り方や、発達障害の早期発見・早期療育にむけた五歳児健診の体制づくり、高校入試における障害を抱える合理的配慮について質問を行った。

チャイルドシートの正しい着用で命を守る！



阿部洋祐議員
(豊田市、1期)

傷事故増加を背景に、JAFは本年9月よりチャイルドシートの着用推奨基準を現行の身長140cm未満から150cm未満へと引き上げた。また、直近の県内調査において、着用はされていないものの、腰ベルトの締付不足等により約7割でミスユースが

判明したことを受け、今後の正しい着用率向上に向けた県の取り組みを確認するとともに、母子健康手帳を活用した向上事例を提案した。この他、名古屋高速道路料金引き下げに向けた償還満了日の延伸、災害時における被災者の移動手段の確保。

また、物価高や円安等の影響により、渡航にかかる経済的負担が増す県内高校の国際留学への支援や、生徒数が急減する山間部の高校の維持存続について、県行政を質した。

あいち民主県議団の 議員連盟活動 をご紹介します!

観光・地域振興 議連

愛知県の観光と地域振興について、観光需要喚起の提言とワークライフバランスの充実と生産性向上による経済の活性化を実現するための新たな取組、話題の愛知県『休み方改革プロジェクト』に関して勉強会も開催しました。



多文化共生 議連

県営住宅における外国人居住者と自治会運営の課題をテーマに関係者と勉強会を開催、併せて外国人技能実習制度に代わり導入が決まった「育成就労制度」を理解するため、国際人材協力機構の関係者との勉強会を開催しました。



中小企業振興 議連

関係団体との連携をテーマとして、愛知県中小企業団体中央会からは官公需適格組合の周知や価格転嫁対策、就業対策（年収の壁等）、エネルギー価格上昇など経営環境悪化への支援等の要望に対し、意見交換しました。



健康と食 議連

健康及び食を観点に各種団体への調査や連携により県政への提言や政策実現を図ります。4月はゲノム編集食品をテーマに、ゲノム編集が技術的に未解決の様々な問題があることから、表示を義務化する必要性を学びました。



私学振興・子育て支援 議連

愛知県が進める公立高校の男女共学や中高一貫化について清林館高校や修文学院高校を視察しました。また、愛知学童保育連絡協議会と担当課との懇談会へ同席し、学童保育が抱える課題解決に向けて意見交換を行いました。



介護 議連

介護業界においても職員不足や介護サービスの質向上を目指して、職員の処遇改善・研修・最新技術や設備導入も重要です。今後も介護を取り巻く課題に対処するため、政府や地域社会、企業が一体となった取り組みを応援します。



農業 議連

愛知県の農業は、所得低迷や後継者不足という構造的な問題などを抱えています。加えて、世界情勢不安から、農産品の品薄・高騰なども大きな課題です。そうした課題解決のため、農業議連で勉強会を開催しています。



子ども・若者 議連

【7月】令和6年5月の民法改正で共同親権が選択できるようになりました。2年以内の施行に向け、課題と環境整備に関する研修を実施しました。
【9月】高校生が働く機会を作ることで自立を促し、人手不足にも資するキャリア教育について研修を実施しました。



モビリティ・安心安全 議連

モビリティ&安心安全政策推進議員連盟は地域交通、宇宙航空始めモータースポーツで地域振興・交通安全などの政策提言を目的に活動しています。今は公共交通の課題・高齢化社会の移動手段などを課題にして意見交換を進めています。



GX(Green Transformation) 議連

浜岡原発の安全対策をテーマに視察。報道では知りえない話の中などから、「安全へのあくなき追求」を感じました。今後は、碧南火力発電所の燃料転換実証試験や田原市沖の浮体式洋上風力実証事業についても視察検討中。



動物福祉 議連

私たちの社会に欠かすことのできない動物。食用、使役、愛玩など関わり方は様々ですが、先進国では動物福祉という概念がスタンダードとなりつつあります。本県における動物福祉政策を前進させるべく活動を行っています。



障がい・難病 議連

障害者権利条約の批准・実現を目指そうと2008年、愛知県内の様々な障害者団体が大同団結し、愛知障害フォーラムが誕生。旧優生保護法による強制不妊手術など、障害者や難病患者に関わる県政の課題について、障害当事者に寄り添った活動に取り組めます。



うみ 議連

23名の議員で、うみ議連が7月末に設立されました。今後、海の利活用また環境保全等を行う関連団体、事業者、行政機関等との交流や意見交換、視察等の活動を積極的に行い、調査研究と政策提言を行っていきます。

